

2023年度
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要
兵庫教区・神戸別院推進委員会
(第1回)

◆ 期　　日　　2024年3月26日（火）午後1時30分

◆ 会　　場　　本願寺神戸別院（1階研修ホール）

◆ 日　　程　　1. 開会式

事務局報告（出欠報告）

松本隆英 法要事務所長 挨拶

吉田信哉 法要推委員長 挨拶

配布資料確認

2. 協　　議

3. 閉会式

閉式の辞

Zoomミーティング

ミーティングID: 841 0998 8973

パスコード: 3415949

兵庫教区

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

兵庫教区・神戸別院推進委員会

No.	氏名	組名	所属寺	組織役職	常任委員会
1	吉田信哉	岡山南組	法親寺	組長会会長	委員長
2	谷川正秀	阪神西組	万徳寺	教区会議長	副委員長
3	光森常之	阪神西組	常宣寺	組長会ブロック長	常任委員
4	棘 信勝	神戸東組	正寿寺	組長会副会長/組長会ブロック長	常任委員
5	藤井正憲	高砂組	明覚寺	組長会ブロック長	常任委員
6	安野秀海	姫路東組	明源寺	組長会ブロック長	常任委員
7	藤朵義文	新宮組	浄教寺	組長会ブロック長	常任委員
8	松本憲城	氷上東組	明光寺	組長会ブロック長	常任委員
9	内田完史	出石組	西宗寺	組長会ブロック長	常任委員
10	高田哲藏	揖龍西組	徳行寺	教区会副議長	常任委員
11	竹内俊之	揖龍東組	淨蓮寺	実践運動委員長	常任委員
12	竹内英昭	網干組	教蓮寺	布教団副団長	常任委員
13	前田正英	姫路中組	順正寺	門徒推進員連絡協議会会长	常任委員
14	北本誠	北摂組	元炤寺	門徒総代会会长	常任委員
15	野村幸男	多紀組	光明寺	仏教壯年会連盟理事長	常任委員
16	田之上睦美	岡山南組	源照寺	仏教婦人会連盟委員長	常任委員
17	杉本笙子	阪神北組	光圓寺	寺族婦人会連盟委員長	常任委員
18	中村秀之	神戸西組	淨行寺	特別法務員協議会副会長	常任委員
19	藤花裕行	神戸別院		神戸別院責任役員	常任委員
20	松尾吉庸	神戸別院		神戸別院総代	常任委員
21	杉本照顕	阪神東組	最光寺	組長	
22	波多正文	阪神南組	正光寺	組長	
23	杉本光俊	阪神北組	光圓寺	組長	
24	増岡康信	神戸中組	正念寺	組長	
25	藤 正隆	神戸湊組	顯證寺	組長	
26	大西正雄	神戸西組	顯眞寺	組長	
27	佐々木智教	北摂組	安樂寺	組長	
28	二階堂弘	神明組	正徳寺	組長	
29	巖 照正	淡路組	圓徳寺	組長	
30	藤井晃正	播磨東組	専應寺	組長	
31	岡崎廣志	播磨中組	福善寺	組長	
32	山本喜彦	多可組	西福寺	組長	
33	森田宗則	加古川組	明福寺	組長	
34	藤本泰成	神崎組	妙樂寺	組長	
35	神光 譲	神姫組	正善寺	組長	
36	宗 雷昭	姫路南組	妙覺寺	組長	
37	皆光秀昭	姫路中組	皆光寺	組長	
38	萩原泰憲	姫路西組	本誓寺	組長	
39	菅野弘和	網干組	徳善寺	組長	

40	寺元康正	揖龍東組	正徳寺	組長	
41	辻 清昭	揖龍西組	専龍寺	組長	
42	鍋島智章	赤穂南組	真覺寺	組長	
43	三輪善紀	赤穂北組	法林寺	組長	
44	藤井章乘	宍粟組	願壽寺	組長	
45	経谷覚也	佐用組	西蓮寺	組長	
46	北村昌康	多紀組	金剛寺	組長	
47	尾井秀瑛	水上西組	照徳寺	組長	
48	森田龍司	朝来組	如來寺	組長	
49	川本通也	養父組	西願寺	組長	
50	善藤正雄	城崎組	信楽寺	組長	
51	本田勇慈	岡山北組	當林寺	組長	
52	久保信浩	神戸湊組	教蓮寺	教区会常備会	
53	光森龍樹	神明組	安養寺	教区会常備会	
54	木村太實	加古川組	教泉寺	教区会常備会	
55	長岡晃澄	神姫組	金蓮寺	教区会常備会	
56	渡邊昌人	赤穂南組	光蓮寺	教区会常備会	
57	板垣忠勝	水上東組	明光寺	教区会常備会	
58	西池匡紹	出石組	勝林寺	教区会常備会	
59	釋水正章	岡山南組	正覚寺	教区会常備会	
60	近藤龍樹	加古川組	普光寺	実践運動副委員長	
61	棚原正智	神姫組	光輪寺	実践運動副委員長	
62	霜尾孝紹	赤穂南組	誓教寺	実践運動常任委員	
63	足立定夫	多紀組	専福寺	実践運動常任委員	
64	軋保真澄	朝来組	極樂寺	布教団副団長	
65	宗 雷聞	姫路南組	妙覺寺	仏教青年連盟委員長	
66	岩田紘昭	阪神南組	西法寺	少年連盟委員長	
67	宏林寿子	阪神南組	淨元寺	保育連盟理事長	
68	西田智教	播磨中組	福恵寺	ビハーラ兵庫代表	
69	和田宏之	揖龍東組	源徳寺	矯正教化連盟兵庫教区支部副支部長	
70	山本英信	高砂組	西法寺	特別法務員協議会副会長	
71	霜尾吏澄	赤穂南組	誓教寺	青年僧侶の会会长	
72	吉田基毅	神戸別院		神戸別院総代	
73	渡邊真二	神戸別院		神戸別院総代	
74	濱田明彦	神戸別院		神戸別院総代	
75	別所法宣	神戸湊組	教覚寺	神戸別院財産管理委員	
76	西畠博亮	北摂組	照願寺	神戸別院財産管理副委員長	
77	岸田昭弘	阪神北組	光圓寺	神戸別院財産管理委員	
78	石原幸忠	神戸別院		神戸別院財産管理委員	

◆協議内容

1. 各部会（法要・講演・広報）報告について

・・・資料別紙

2. 教化組織協力について

・・・資料別紙

3. 蓮華会協力について

プロジェクター寄贈について

慶讚法要が3階本堂と1階ホールを会場として勤まることになり、教区総代会より250インチスクリーンが寄贈され、教区仏教婦人会と寺族婦人会よりステージ緞帳が寄贈されることに併せ、今より大型のスクリーンへ映像を出力することが可能なプロジェクターを教区参与会『蓮華会』より寄贈いただくことになっている。

1階ピロティでの出店について

蓮華会入会企業の仲介及び協力により、現在予定しているイベント

【協力】

- ①敷島堂（和菓子・洋菓子）
- ②浜屋（仏壇仏具土産等）
- ③秋田仏壇店（仏壇仏具土産等）

【仲介】

- ①神戸土産のスイーツブース
- ②産地直送お野菜マルシェ
- ③ドリンクブース

【教化組織協力】

- ①矯正教化（キャッピック展・矯正保護事業PR）
- ②ビハーラ（活動DVD放映、愛生園・光明園パネル展）

4. その他

【法要部会 報告】

<基本日程>※4日間とも共通

内 容	時 間
コースの集い	13:00~13:15
オリエンテーション	13:15~13:20
法要	13:30~14:30
法話	14:30~15:15
休憩	15:15~15:30
講演	15:30~16:30

(1) 作法について

※別紙「差定」「1階ホール・3階本堂説明図」参照

基本的には、『新制 御本典作法』を基に差定を作成。

但し、別院や各寺院においても依用することが多い『正信念仏偈作法（第二種）』のお勤めの要素の一部を盛り込む形で作成。

また、法要是3階本堂がメイン会場となっているが、1階ホールでの参拝者にもより法要の雰囲気を感じてもらうため、1階ホールでも勤行を行い勤行後は縁儀の作法を用いて3階本堂での法要へ移行。移行後は、映像にて本堂での法要の様子を1階ホールにて配信。

1階ホールでの勤行の開始時間については、13時20分とし、本堂の開始時間については、13時30分となっているが、1階ホールでの勤行が早く終われば、定刻を待たずして法要を開始。

(2) 出勤法中について

出勤法中については、組長宛てに2名の出勤者の選出を依頼済。

今後は、組長からの出勤者の報告を基に、結衆・列衆を振分け、出勤者宛に4月中旬頃を目安に通知予定。

(3) 経本について

今回の法要是、『新制 御本典作法』に『正信念仏偈（第二種）』のお勤めの要素を盛り込む形で作成しているので、新たに法要で依用する経本を作成し、教区内全寺院へ送付済。

(4) 華葩作成について

今回の法要で使用する華葩については、現在、校正作業を進めている。

デザインについては、山田雅夫さんに依頼し、別院の外観をスケッチしていただき、そのスケッチを基に華葩を作成。

(5) 作法研修会・習礼開催について

・<作法研修会>4月10日（水）13:30~開催。教区内全寺院へ通知済。

・<法要習礼>5月14日（火）15:00~開催。組長を通じて通知済。

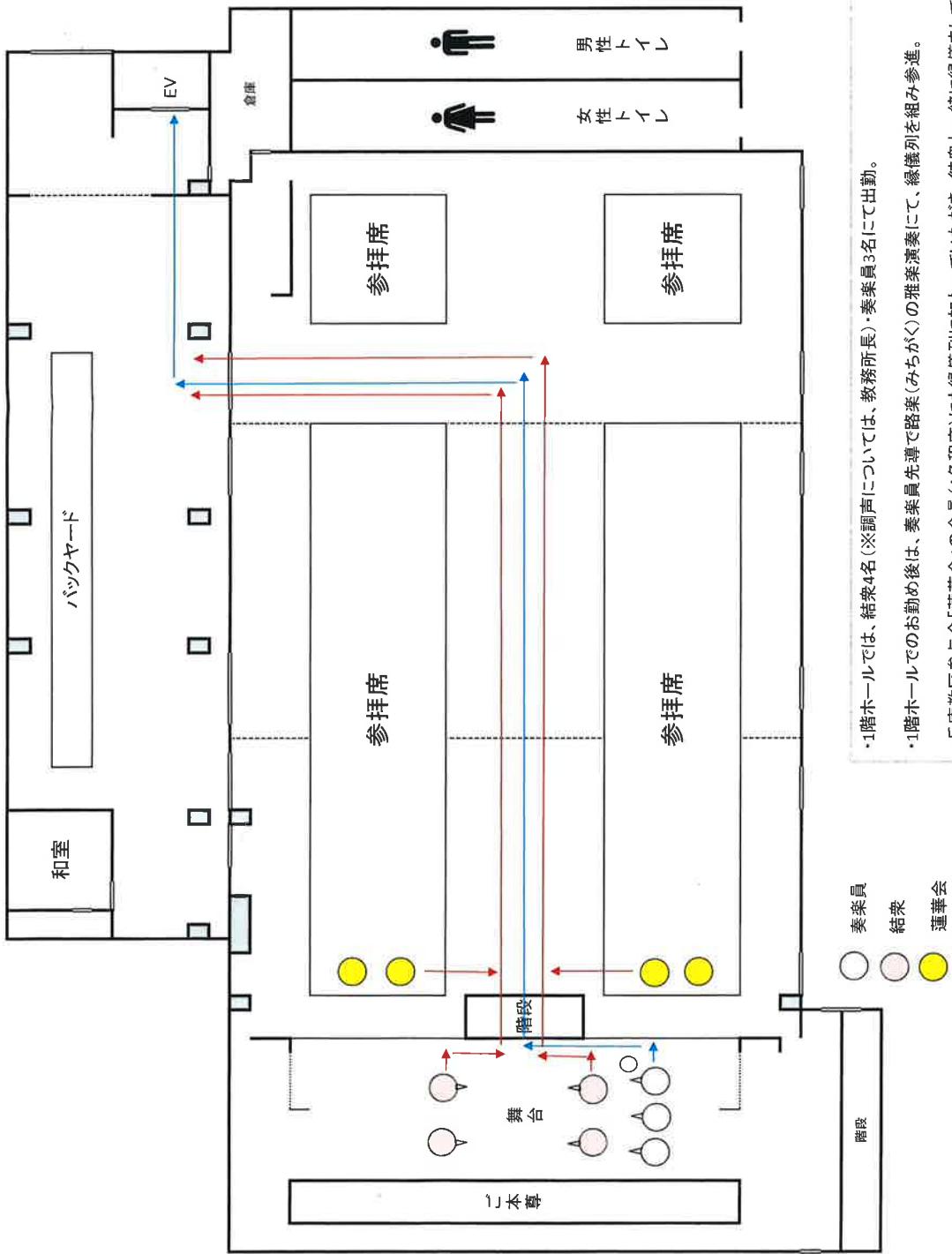
※対象については、結衆のみ。詳細については、出勤者宛に通知。

以 上

1 2 : 5 0 頃より差定説明を予定

※引続書 輸番挨拶

1階ホール説明図



・1階ホールでは、結衆4名(※調音については、教務所長)・奏楽員3名にて出勤。

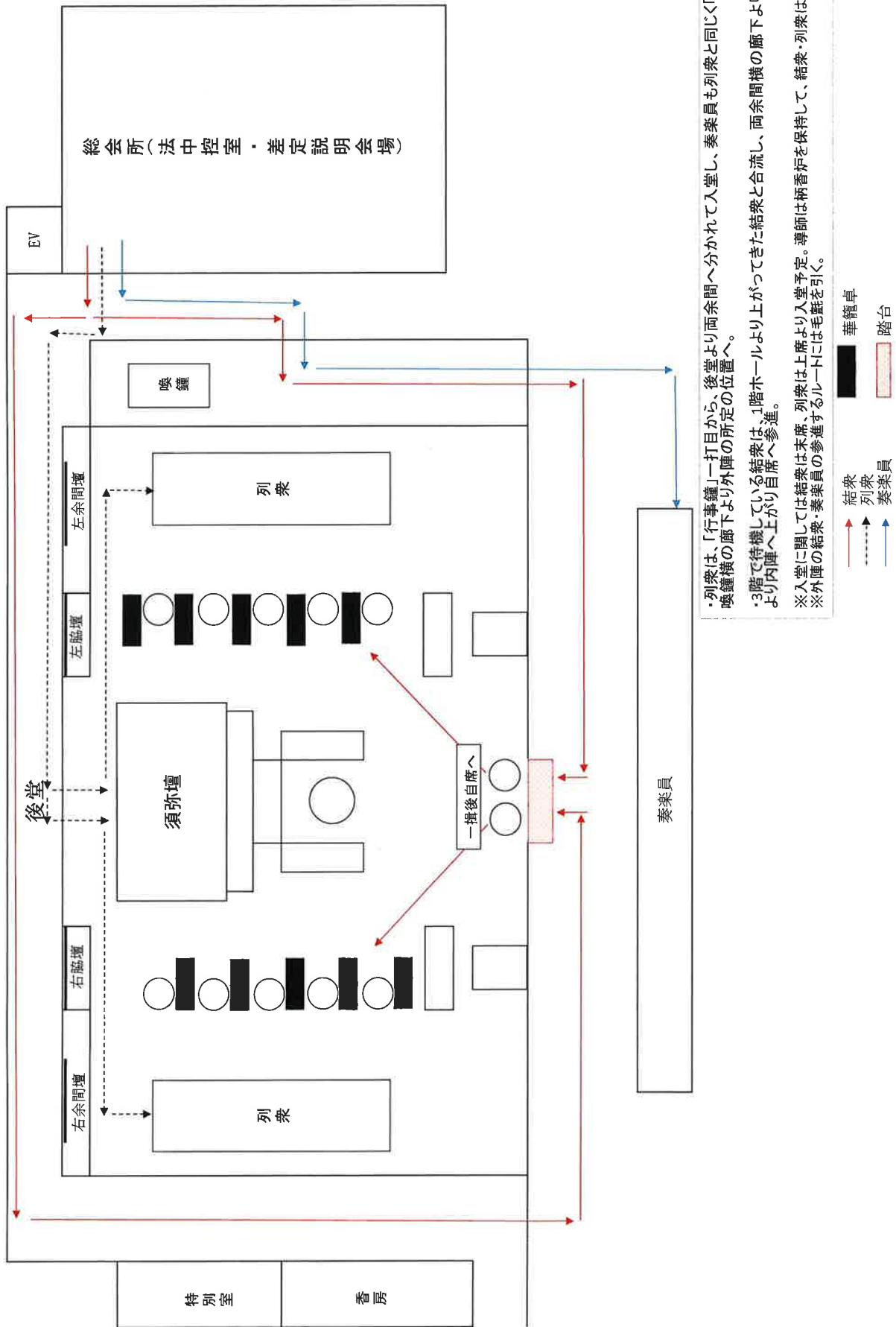
・1階ホールでのお勤め後は、奏楽員先導で路楽(みちがく)の雅楽演奏にて、縁儀列を組み参進。

・兵庫教区「蓮華会」の会員(4名程度)にも縁儀列に加わっていただき、結衆と一緒に縁儀をしてもらう。着席場所については、参拝席の最前列に用意し、結果が舞台から下に降りるタイミングにて縁儀列に加わり参進。

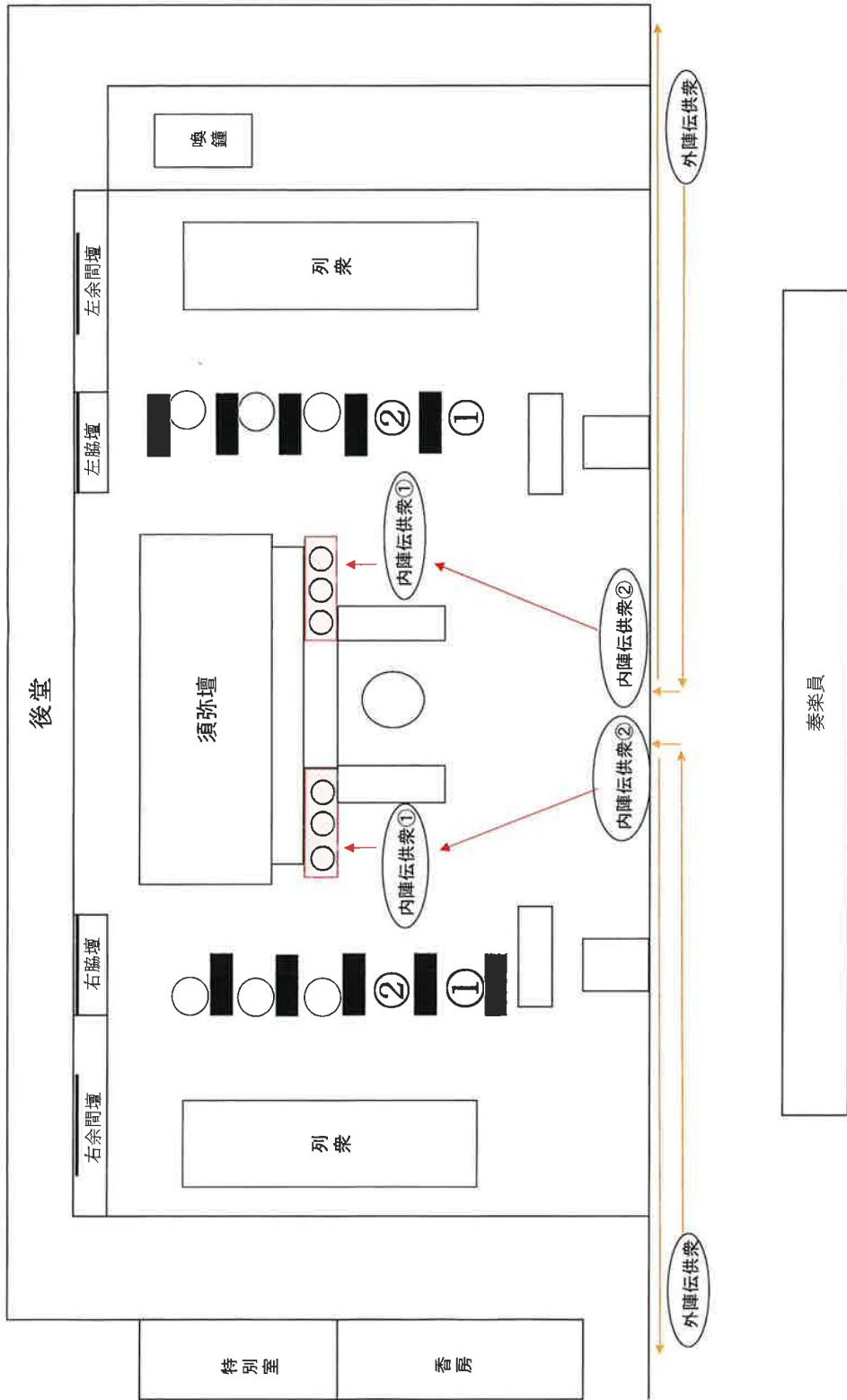
・縁儀の際は、奏楽員は縁一列で参進し、結衆・蓮華会も縁1列にて、奏楽員先導のもとバックヤードへ。縁儀終了後は、結衆と奏楽員は、本堂での法要のためバックヤード奥のEVにて本堂へ。「蓮華会」会員については自席へ戻り参拝。

↑ 奏楽員経路
↓ 結衆・蓮華会経路

法要入堂經路圖

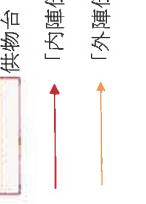


伝供説明図



- ・「伝供」は、「華(3対)」で行う。
- ・「伝供衆」は、内陣4名(祖師前・御代前の1席目・2席目)、外陣6名については、教区内コーラス団体へ依頼。

- ・「伝供」の際は、外陣伝供衆より内陣伝供衆②へ渡す(渡した後に一揖 ※受け取るときはしない)。
- ・内陣伝供衆①は内陣伝供衆②より預かり、前卓前に用意してある供物台へ置く(置いた後に一揖 ※置く前にはしない)。
- ・外陣伝供衆は、前の伝供衆が両脇に引くタイミングで次の伝供衆が進む(これを3回(3対分)行う)。



【講演部会 報告】

●5月16日(木)

とうぎひでき
東儀秀樹さん（雅楽師）× しゃく てつしゅう
釈 徹宗さん（相愛大学学長）

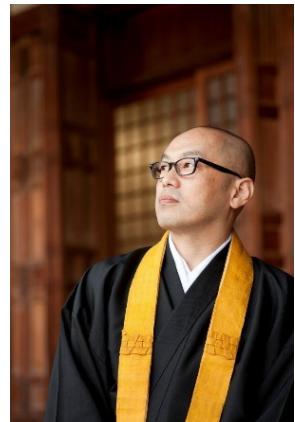
- ・講題 東儀流生き方
- ・内容 講演、釈徹宗さんとの対談、演奏（数曲）
- ・配信 可能（配信方法や期間などの指定なし）
- ・その他 11時前に現地入り
11時頃から30分程度のサウンドチェック
釈先生とはその前後で打ち合わせ
当日音響チーフ有り、事前の音響資料有り
交通費は出演料と別途（音響チーフ経費は出演料に含む）



1959年東京生まれ。東儀家は、奈良時代から今日まで1300年間雅楽を世襲してきた楽家。父の仕事の関係で幼少期を海外で過ごし、あらゆるジャンルの音楽を吸収しながら成長した。宮内庁楽部在籍中は、篠篥（ひちりき）を主に、琵琶、太鼓類、歌、舞、チエロを担当。宮中儀式や皇居において行われる雅楽演奏会などに出演するほか、海外での公演にも参加し、日本の伝統文化の紹介と国際親善の役割の一翼を担ってきた。1996年デビューアルバム「東儀秀樹」で脚光を浴び、以後次々とアルバムをリリース。他ジャンルの音楽家とのコラボレーションで国内外を問わずコンサートを開催し、雅楽器の持ち味を生かした独自の表現に情熱を傾ける。最新アルバムは2023年発売の“プログレッシブ雅楽”をテーマにした壮大かつ金字塔的な作品「NEO TOGISM」。

しゃく てつしゅう
釈 徹宗さん（相愛大学学長）

相愛大学人文学部教授。博士（学術）。日本宗教学会評議員。日本仏教学会理事。淨土真宗本願寺派如来寺住職。NPO法人リライフ代表。宗教思想や宗教文化の領域において、比較研究や学際研究を行っている。論文「不干齋ハビアン論」で涙骨賞（第五回）、著書『落語に花咲く仏教宗教と芸能は共振する』で河合隼雄学芸賞（第五回）、また仏教伝道文化・沼田奨励賞（第五十一回）を受賞している。近著に『お世話され上手』（ミシマ社）、『異教の隣人』（晶文社）など。



●5月17日(金)

うえの まこと

上野 誠さん(万葉学者)

- ・講題 日本人と聖徳太子
- ・内容 講演
- ・配信 可能(配信方法や期間などの指定なし)
- ・その他 資料あり(A3両面)、白板使用(予定)
入り時間確認中、当日宿泊予定



1960年、福岡生まれ。国学院大学大学院文学研究科博士課程満期退学。奈良大学名誉教授。博士(文学)。國學院大學文学部教授(特別専任)。第12回日本民俗学会研究奨励賞、第15回上代文学会賞、第7回角川財団学芸賞、第20回奈良新聞文化賞、第12回立命館白川静記念東洋文字文化賞受賞。第68回日本エッセイスト・クラブ賞。『古代日本の文芸空間』(雄山閣出版)、『魂の古代学——問いつづける折口信夫』(新潮選書)、『万葉挽歌のこころ——夢と死の古代学』(角川学芸出版)、『折口信夫的思考-越境する民俗学者-』(2018年、青土社)、『万葉文化論』(2018年、ミネルヴァ書房)など著書多数。万葉文化論の立場から、歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提案。近年執筆したオペラの脚本も好評を博している。

●5月18日(土)

みわふさこ

三輪記子さん(弁護士) × しゃく てつしゅう
釈 徹宗さん(相愛大学学長)

- ・講題 法律家から見た現代人の生きづらさ
- ・内容 釈徹宗さんとの対談
- ・配信 確認中
- ・その他 16時30分の講演後すぐに帰京
入り時間確認中



1976年生まれ。京都府出身。東京大学法学部卒。2021年に「三輪記子の法律事務所」を開設。各種ハラスメント問題や離婚・男女トラブルなどの問題を多く担当し、毎日放送「news おかえり」、読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」・「ウェークアップ」・「あさパラS」、TBS「サンデーモーニング」など、コメンテーターとしてメディアでも活躍中。夫は作家の樋口毅宏氏。2022年に第二子出産。

【レギュラー】

朝日放送「news おかえり」金曜コメンテーター

名古屋テレビ放送「アップ!」水曜コメンテーター

読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」「ウェークアップ」「あさパラ S」(不定期出演)

【書籍】

「これだけは知っておきたい男女トラブル解消法」(海竜社)2021年4月7日発売

●5月19日(日)

つきていほうせい

月亭方正さん（落語家）

- ・講題 僕が落語家になった理由
- ・内容 講演、落語
- ・配信 不可（録画も不可）
- ・その他 前座で弟子が噺を一席披露予定
高座、名ビラ（めくり）をかけるめくり台を用意
入り時間確認中



1968年2月15日生まれ。

落語家よしもとクリエイティブ・エージェンシー大阪本部所属。NSC6期生。身長166cm。本名・旧芸名：山崎邦正（やまさき ほうせい）。兵庫県西宮市出身。2013年1月より芸名を本名・山崎邦正から、高座名「月亭方正」に改名。上方落語協会会員。出囃子は「ヤマザキ一番」。

（公式ホームページより抜粋）

40歳を迎える直前に落語に出会う。人生で初めて聴いた落語は桂枝雀の「高津の富」である。本人曰くこんな面白い芸能が日本にあったのかと落語に目覚めたという。その後、「聞くだけでなくやってみたい」と考えるようになった方正は、本格的に落語の勉強を始め、月亭一門に入門した。月亭八光を通じて八方に入門を志願したためである。2008年5月11日に月亭八方の落語会に客演として落語家デビューし、打ち上げの席で八方から正式に「月亭方正」の名を貰った。2013年1月1日よりタレント活動時も含めて芸名を「月亭方正」に一本化することになった。2017年1月には、シドニーで海外公演を行い、当日追加席が出るほどの盛況ぶりで大きな話題となる。2018年5月11日なんばグランド花月で十周年記念落語会。自身初のお笑いの聖地であるなんばグランド花月での独演会。当日に合わせ「落語は素晴らしい」書籍を出版。石川県津幡町の広報特使。東京理科大学臨時講師をはじめ、講演会なども行う。現在では、バラエティー番組のイメージを払拭する真摯な語り口と、丁寧な落語が評判となり、「今まで見た落語家で一番おもしろかった」「語り口も素晴らしいし、初心者にも入りやすい」「話し方がとても上手」等、称賛の声が多く寄せられている。お笑い芸人から落語の道へ転身を果たし芸人として培ってきた“笑いのエッセンス”を散りばめながら、磨き上げた古典落語の世界を、全国の皆様にたっぷりとお届けしている。

【広報部会報告】

1、広報活動について（ポスター、記念品）

（1）ポスター（A1 サイズ）

【第1段】法要期日が決定したことを受け、期日を告知することを目的に据え作成し、7月7日に組長宛に寺院数分を送付。

【第2段】法要の詳細が決定したことを受け、法要及び協賛行事の全体を告知するポスターを作成し、12月25日に各寺院宛に送付。

【第3段】2月10日開催の協賛行事後に、法要テーマ及び特命布教師の写真を掲載し、法要をメインとしたポスターを、各寺院宛に3月4日に送付。

（2）チラシ（A4 サイズ）

【第1段】協賛行事をメインに作成し、1月18日に寺院宛に送付。

【第2段】ポスターと共に各寺院宛に3枚を送付。

2、記念品について

記念品は、参拝記念と参拝懇志に応じたお扱いの2種類を検討している。

【参拝記念品】華苞並びにピンバッジ

・華苞・・・別院建物の正面がデザインされたもので、2種類（ピンクと水色）。外袋に、デザインした方の簡単な肩書を記載する。

・ピンバッジ・・・大きさは22～25mm程度で、共命之鳥をアレンジしたデザインで、兵庫教区・神戸別院のものという特別感があるように仕上げる。

【参拝懇志】 懇志額

1,000円以上 モダン寺オリジナルメダルキーホルダー
5,000円以上 モダン寺オリジナルミニトートバック

10,000円以上 モダン寺オリジナルトートバック（予定）

3、冊子・パンフレット等について

法要時に配布する冊子として、B5サイズ（見開きB4サイズ）で、役職者の挨拶文、経本、差定、神戸別院の年間行事予定、納骨所、沿革、別院紹介動画のQRコード、慶讚法要を記念して寄贈されたものの紹介、広告協賛を含めて42ページ（見込）程度となる。

以上

【慶讃法要にむけて各教化団体での取り組みについて】

【布教団】

- ・2024年2月2日に第21回兵庫教区布教団布教大会を開催
大会テーマは慶讃法要と同じ「ご縁を慶び、お念佛とともに」とし、サブテーマを「教区・別院の慶讃法要をお迎えして」と設定して行った。布教大会のプログラム終了後に「みんな花になれ」のオープンマイクを行った。
- ・大会当日は模擬店（キッチンカー）を設けて例年の大会とは違った内容で検討している。

【門徒推進員連絡協議会】

- ・法要期間中の参拝者のお出迎え、案内、お見送りの奉仕活動

【門徒総代会】

- ・1階ホールのスクリーンを寄贈（2024年1月12日納品）

【仏教壮年会連盟】

- ・2024年2月25日の慶讃法要記念として仏教壮年の集いを開催

【仏教婦人会連盟】

- ・2024年2月10日の慶讃行事に単位会会长研修会として参画（148人参加）
- ・慶讃行事のチラシが完成後案内
- ・2024年3月1日に、第15回仏教讃歌コーラスフェスティバルを慶讃法要記念として開催（寺婦連盟と合同開催、160人参加）
- ・1階ホールステージの緞帳を新調（寺婦連盟と合同で寄贈、4月中旬納品）
- ・法要当日、講演前にコーラスを披露（曲目：みんな花になれ・しんらんさま、6団体が出演）

【寺族婦人会連盟】

- ・2024年3月1日に、第15回仏教讃歌コーラスフェスティバルを慶讃法要記念として開催（寺婦連盟と合同開催、160人参加）
- ・1階ホールステージの緞帳を新調（寺婦連盟と合同で寄贈、4月中旬納品）
- ・法要当日、講演前にコーラスを披露（曲目：みんな花になれ・しんらんさま、6団体が出演）

【仏教青年会連盟】

- ・2024年3月24日慶讃法要記念として「学びと笑い」を開催

【少年連盟】

- ・役員会で検討中

【子ども・若者ご縁づくり推進委員会】

- ・2024年1月21日、28日慶讃法要記念としてモルック大会を開催

【保育連盟】

- ・加盟園にぬり絵、輪つなぎ、花がみを依頼して法要当日に展示

【ビハーラ兵庫】

- ・ビハーラ活動紹介のDVD放映（案）
- ・愛生園・光明園の歴史に関するパネル展示（案）

【矯正教化連盟兵庫支部】

- ・100万円の協賛金
- ・法要の際にキャピック展など
- ・矯正保護事業のPR

以上

親鸞聖人御誕生850年慶讚法要 兵庫教区 法要事務所設置規則
立教開宗800年 神戸別院

目次

- 第1章 総則（第1条）
- 第2章 法要事務所（第2条—第5条）
- 第3章 法要委員会（第6条—第11条）
- 第4章 補則（第12条・第13条）

附則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 親鸞聖人御誕生850年慶讚法要事務所設置規程（令和元年宗則第1号）に基づき、兵庫教区及び本願寺神戸別院における（以下「慶讚法要」という。）にかかる事務を円滑に行うために必要な事項は、この区令の定めるところによる。

第2章 法要事務所

(設置)

第2条 兵庫教区教務所に、親鸞聖人御誕生850年慶讚法要 兵庫教区 法要事務所（以下「法要事務所」という。）を設置する。

(所掌事項)

第3条 法要事務所は、次の各号に掲げる事項をつかさどる。

- 一 慶讚法要の修行に関すること。
- 二 慶讚法要の協賛行事に関すること。
- 三 本山で修行される慶讚法要の団体参拝に関すること。
- 四 前各号のほか、必要なこと。

(職員)

第4条 法要事務所に、次の各号に掲げる職員を置く。

- 一 所長 1人
 - 二 事務職員 若干人
- 2 所長は、教務所長・輪番をもって充て、法要事務所の事務を統理する。
- 3 事務職員は、所長の指揮監督を受けて、所務に従事する。
- 4 前3項のほか、教区規程（昭和24年宗則第120号）第10条の2の規定により教務所に副所長が置かれているときは、法要事務所に副所長1人を置き、教務所の副所長をもって充てる。
- 5 事務職員の補任については、教区規程第11条第2項及び第3項の規定を準用する。

(参与)

第5条 法要事務所に、参与若干人を置くことができる。

2 参与は、宗会議員、教区会議員その他学識経験のある者のうちから、教務所長が委嘱する。

第3章 法要委員会

(設置)

第6条 教務所長は、教区における法要事務の円滑な処理を行うため、
親鸞聖人御誕生850年慶讃法要兵庫教区推進委員会(以下「法要委員会」という。)
立教開宗800年神戸別院を置く。

(組織)

第7条 法要委員会は、委員若干人で組織する。

2 委員は、教区会議員、組長及び学識経験のある者のうちから、教務所長が委嘱する。

3 委員の任期は、2会計年度とし、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第8条 法要委員会に、委員長及び副委員長各1人を置き、委員のうちから、教務所長が指名する。

2 委員長は、法要委員会を代表し、会務を統理する。

3 副委員長は、委員長を助け、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(常任委員会)

第9条 法要委員会に、必要に応じて、常任委員会を置くことができる。

2 常任委員会は、委員長及び副委員長、並びに委員のうちから教務所長の指名する常任委員若干人で組織する。

3 常任委員会は、法要委員会が委任した事項又は臨時緊急の必要のある事項を処理する。

(分科会等の設置)

第10条 法要委員会に、その所掌事項を分担処理するため、分科会等を置くことができる。

2 分科会等の設置及び組織などについては、教務所長が法要委員会に諮って決める。

(招集)

第11条 法要委員会は、教務所長が招集する。

2 法要委員会に、常任委員会及び分科会等が設置されたときは、前項の規定を準用する。

第4章 補則

(経費)

第12条 法要事務所の運営に必要な経費は、毎会計年度ごとに、予算を編成し、教区会の議決を求めなければならない。

(補則)

第13条 この区令の施行について必要な事項は、教務所長が決める。

附 則

- 1 この区令は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、教務所長は、この区令の施行に必要な準備措置を講じることができる。

附 則

- 1 この区令は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 この区令施行の際現に贊事、主事、録事及び書記たる者は、この区令による事務職員とみなす。但し、事務員資格試験及び法務員資格試験に合格していない教師又は事務員資格試験に合格していない教師でない僧侶、寺族若しくは門徒は、この区令による事務職員取扱とみなす。
- 3 第1項の規定にかかわらず、教務所長は、あらかじめ必要な準備措置を講じることができるものとする。